

岐阜女子大学大学院「実践研究II」スケジュール

2025年1月25日(土) **1日目**

会場：岐阜女子大学沖縄サテライト校
 沖縄県島尻郡与那原町字東浜1番地 沖縄女子短期大学2階 TEL:098-943-9705

時間	内容
12:30	集合(事前課題提出・懇親会代金徴収等)
13:00	ガイダンス
13:10-14:40 (90分)	【授業】(仮)与那原町のデジタルアーカイブの開発と課題 講師：与那原町役場ブランド推進課 主任 宮城結氏 主事 伊波佑華里氏
14:50-16:20 (90分)	【授業】(仮)軽便鉄道と与那原の歴史 講師：与那原町役場生涯学習振興課 川島淳氏
16:30-17:00	翌日の案内/事後課題についての説明等
19:00	懇親会 会場：燕郷房(ヤンキョウファン) 那覇市泉崎1-11-3 TEL098-862-0011

2025年1月26日(日) **2日目**

会場：与那原町内

時間	内容
9:30	集合(沖縄女子短期大学) 出欠確認/1日の流れ確認
9:40	沖縄女子短期大学を出発
10:00-	【見学】軽便与那原駅舎展示資料館(入館料) *資料館スタッフによる説明あり 【自由見学】与那原大綱曳資料館(入館料無料)
13:00-	【実践】与那原デジタルアーカイブ 与那原町の歴史・文化にもとづく地のデジタルアーカイブ実践

緊急連絡先	沖縄サテライト校 098-943-9705 久世 090-8861-0160 / 加藤 090-6083-7856 / 渡辺(事務) 090-4116-1517
-------	---

事後課題	課題① 撮影記録報告書の作成 課題② 撮影箇所のメタデータ作成
	課題③ 実践の感想等 ※①②③はWORDのフォーマットデータあり
	<input checked="" type="checkbox"/> 提出物について.....①②③をサイボウズで提出 <input checked="" type="checkbox"/> 提出期限について.....スクーリング終了後、2週間を目途に提出 <input checked="" type="checkbox"/> 課題についての不明点.....渡辺まで連絡ください。

※本授業の一環として撮影したデータや課題として作成したメタデータに関する著作物について
 本授業では、与那原町のデジタルアーカイブ「YONABARU NAVI」および本学の地域資源デジタルアーカイブへの実際の公開を
 念頭に与那原町内の撮影やメタデータの作成を行うことで、実践的に地域資源のデジタルアーカイブ化を体験します。
 本授業の教育目標は授業内で収集した撮影データや作成したメタデータの公開をもって達成と考えています。
 撮影したすべてのデータと作成したメタデータのデータを提出していただき、与那原町と本学のデジタルアーカイブ資料の充
 実にご協力のほどよろしくお願いいたします。(授業担当者)
 *メタデータについては講師の先生方・授業担当者のチェックのもと、修正されたり追記される場合もあります。

実践研究Ⅱ	担当教員：久世均・加藤真由美	単位数：2	履修方法 T/S
-------	----------------	-------	----------

I はじめに

デジタルアーカイブは、さまざまな分野で必要とされる資料を記録・保存・発信・評価する重要なプロセスである。このデジタルアーカイブは、わが国の知識基盤社会を支えるものであり、デジタルアーカイブ学会でも、デジタルアーカイブ立国に向けて「デジタルアーカイブ基盤基本法（仮称）」などの法整備への政策提言を積極的に行っている。

今後、知識基盤社会においてデジタルアーカイブについて責任をもって実践できる専門職であるデジタルアーキビストが必要とされている。ここでは、デジタルアーキビストの学術的な基礎として、地域資源デジタルアーカイブに関する手法やデジタルアーカイブの課題を実践的に学ぶ。

II 授業の目的・ねらい

- ・この授業は講座とスクーリングに分かれて学修する。スクーリングは、実装的にデジタルアーカイブし記録管理を体験することになる。
- ・事前課題と事後課題が設定されており、個別で学修する場合にも、集団で学修する場合においても学修を深めるために主体的に研究課題を考えることが重要である。

III 授業の教育目標

本科目は講座とスクーリングにより構成されている。講座では、各地域の問題意識や課題を明確にし、デジタルアーカイブを計画することである。スクーリングでは研究計画を立て、調査をし、デジタルアーカイブすることであり、記録したデータを管理し、公開するまでを学ぶ。

現地実践演習

1. 何を学ぶのか

地域の問題意識や課題の明確化し、課題解決にふさわしい場所を選択し、実際にデジタルアーカイブ化を実施する。

2. 学習到達目標

デジタルアーカイブの手法を具体的に実施し、Web で公開するまでを学ぶ。

沖縄サテライト校のある与那原町

【地理】沖縄県の県庁所在地である那覇市から東へ約9km、沖縄本島南部の東海岸に位置し、中城湾に面している。面積は5.18km²で、沖縄本島で最も面積の小さい自治体である。

町は東南を雨乞森(133m)（アマゴイモリ／アマゴイムイ）に、北西は運玉森(158m)（ウンタマモリ／ウンタマムイ）に囲まれ、前方に中城湾を望む海岸線にのびた平坦地である。運玉森に籠もった義賊 運玉義留の話は沖縄で広く知られ、同名の映画作品「ウンタマギルー」は日本映画監督協会新人賞やベルリン国際映画祭カリガリ賞などを受賞した。

【立地】第二次世界大戦までは、中城湾に面する天然の良港を有し、山原船の出入りもしていた。

沖縄本島東海岸の沿岸交通の要衝、また南部（島尻）と中部（中頭）の両地方を結ぶ東海岸沿いの陸上交通の要衝であったが、第二次世界大戦後は港町としての性格が失われた。現在でも南部と中部を結ぶ東海岸沿いの陸上の交通要衝でもある。

【地形・地質】埋立地以外の同町地形・地質ともに2つに区分される。大半は第三紀島尻群の泥岩・砂岩からなる低起伏の丘陵と、中城湾に沿う狭い海岸低地からなるが、南城市大里との境界、大里城跡公園付近には島尻層群を覆う琉球石灰岩大地がある。この地質のため大半がジャーガル土壌である。

その土壌はサトウキビ作にも適している。また、この泥土を利用し、同町特産の琉球焼物、赤瓦の製造が営まれている。